

地方創生交付金事業・地方創生拠点整備交付金・認定中の地域再生計画 検証結果(令和4年度分)

交付対象事業の名称 地域再生計画の名称	事業概要	事業費 (単位:千円)	重要業績評価指標(KPI)				今後の方針	外部有識者の総評
			指標名	単位	目標値	実績値		
地方創生推進交付金								
1 人を呼び込むマグネットシ ティ構想(3年目)	<p>○二地域就労促進事業</p> <p>◆目的 都市部の企業等との関係性を保ちながら、本市への社員の就労等によりもたらされる都市部の情報や高度なノウハウや知識、感性などにより、新たな仕事や生業を創出し、中小企業の振興及び雇用創出を図る。</p> <p>◆内容 ・二地域就労協定に係るプロジェクトの創出・継続・自立支援 ・京都芸術大学との旅するキャンパス創造事業による学びの場の創出。 ・一般講座の開催 ・学生講座の開催 ・天草かるた制作ワークショップ</p> <p>○未来人材育成・就職促進事業</p> <p>◆目的 若者のUIJターンに向けた情報発信や就職面談会による就職支援、また、スキルアップできる環境を整備し、起業・創業につながる人材を育成することにより、産業振興及び地域活性化を図る。</p> <p>◆内容 【就職情報の発信】 ・天草市内で働く魅力のパンフレットの作成(年1回・地元高校生の編集チームによる作成) ・UIJターン就職促進動画の作成、配信 【UIJターン就職面談会の開催】 ・あまくさ合同就職面談会in熊本市での開催 ・企業魅力研究会in崇城大、学園大 【スキルアップ研修会の開催】 ・Webデザイン、クラウドワーキング、グラフィックデザイン、動画クリエイター、オンラインシェアワーカ育成講座の開催 【デザイン経営導入促進事業】 ・デザイン経営導入シンポジウムを開催 ・デザインプロデューサー道場を開催</p>	15,034千円 うち交付金充当額 8,797千円	<p>移住・定住促進施策を通じた移住者数</p> <p>人 100 100</p> <p>大学等との連携事業の参加者数</p> <p>人 160 256</p>	<p>○二地域就労促進事業 京都芸術大学との取組みでは、芸術大学が持つノウハウを大学教授等を直接講座をいただき市民が受講できる体制、また、オンラインによる事前学習など新たな受講できる仕組みを設けたことで、令和2年度から4年度の3年間で約827人の市民が講座を受講するなど、本市における市民の新たな学びの場の創出に繋がっている。 また、これまでの京都芸術大学との連携事業に携わった学生が本市に移住し、起業の準備を進めるなど新たな成果も生まれてきている。</p> <p>○未来人材育成・就職促進事業 ・UIJターン就職支援については、今後も熊本市での合同企業説明会の継続実施、県内大学・専門学校と提携した学内での天草就職促進イベントの実施、地元高校生を対象とした企業ガイダンス等を実施し、地元就職を促進する。 ・デジタルスキル研修については、実施した講座の見直し、改善を行い、仕事に繋がるデジタル人材の育成に力を入れていく。また、早い段階からデジタル産業に興味を持ち、天草に残って働きたいという若者を育成するため、市内高校でのゲーム会社等によるセミナーを行うとともに、さらに、民間企業と連携し、常にデジタル技術を学ぶことができる人材育成拠点を整備し、人材育成を強化することで、IT・コンテンツ系の企業誘致に繋げ、魅力ある雇用の場の創出を図る。 ・デザイン経営事業については、過疎の進む本市において学びの機会を多く設けることが必要であると考えており、デザインを活用し、誰もがより効率的かつ効果的に稼ぐことができる手段を学ぶ一つのツールとして、今後もニーズを把握し、課題の改善などアップデートを図りながら継続実施する。</p>	<p>◆「効果的であった」 ○二地域就労促進事業 ・大学など他との委託契約を結ぶことで他からの知識や感性を得ることができ、新たな学びの場となっている。 ・天草おさかなカルタは知っていたが、ワークショップの開催は、知らなかった。天草は、自然豊かで芸術家の方に好まれる場所だと思います。まずは、天草を知ってもらえる事が、大事に感じます。 ・移住者が、定住してくれると嬉しいです。さらに、移住者が、100人で伸びなかった振り返りをしてほしいし、定住者のその後の状況なども把握してほしい。 ・連携事業で携わった学生が本市へ移住し、起業を始めたきっかけや思い等を、本市の中小高校生に話して頂けるような機会があれば、住んでいる者には分からなかった天草市の魅力が分かったり、若者の定住に繋がるのではないだろうか。</p> <p>◆「効果的であった」 ○未来人材育成・就職促進事業 ・地元高校生を巻き込んで取り組むことでUターンに繋げることも見込むことができる。 ・高校生だけでなく学生全体に長期にわたって総合的な計画が必要であり情報発信をしていく必要がある。 ・未来創造スクールでは行政だけでなく、企業や市民が地域の課題に取り組み、天草について学ぶ場をつくることで未来人材を育成でき地域を盛り上げる人数を増やすなど効果的だと感じる。 ・評価としては非常に良いと思う。UIJターン就職面談会の開催については熊本市以外(福岡市等)での開催も積極的にお願いしたい。 ・天草の将来を担う地元の高校生が自ら取材し編集・作成した広報冊子「ここからはじまる天草」では、地域課題をビジネス手法で解決を目指す人材を育成する「あまくさ未来創造スクール」を修了したカッコいい大人たちが紹介されており、高校生の地元就職やUIJターンのきっかけに繋がるものと期待している。 ・デジタル人材の育成にあたっては、地元の高校生を対象としたセミナーの開催など早い段階から興味を持ち意識を高める取組みと並行して、IT・コンテンツ系の企業誘致を推し進めることで、若年層が希望する雇用の場の拡大が図られるとともに、若者の地元への就職と他地域からの就職も期待できるものと考えられる。 ・UIJターン就職支援について、合同企業説明会を熊本市で開催された事は評価できると思う。天草での開催では効果が薄い。今後は島外での機会を増やすことで、更に天草の企業の魅力を直に発信し、地元への就職を促進する事業を継続して欲しい。</p>			
2 多文化共生「天草版サラダ・ポウル社会」の構築事業(3年目)	<p>◆目的 市民ボランティア等を通じて市民と外国人との交流機会を拡大し、外国人のニーズを図るとともに、多文化共生の意識啓発を図りながら、天草に住みやすい環境の整備を行う。</p> <p>◆内容 ○国際交流推進員の配置</p> <p>○多文化共生事業の実施 ・日本語教室等の実施 ・外国人総合相談窓口の実施</p>	4,266千円 うち交付金充当額 2,133千円	<p>外国人居住者の満足している割合</p> <p>% 66.0 52.0</p> <p>子育てしやすい地域と感じる市民の割合</p> <p>% 69.0 59.5</p>	<p>・国際交流推進員による講座は市民にも好評であるため、今後も外国人からの視点をふまえて啓発活動を実施し、多文化共生に関する意識啓発や市民が外国人と交流しやすい環境づくりを推進する。現在本渡地域での講座が多いため、広い範囲で講座を実施できるように、各支所へ国際交流推進員の活動の周知を図っていく。 ・現在行っている「日本語教室」や「外国人総合相談窓口」については、徐々に認知度も上昇しているが、相談窓口の認知度が上がってきたことで、相談内容も多岐に渡り、永住権や財産、雇用に係る権利義務関係など、専門的な知識が必要となる内容が増えてきている。また、市内企業での技能実習生の受け入れの増加に伴い、本渡地域以外の地域での外国人居住が増えてきており、外国人割合が高い地域での外国人相談窓口の開設や日本語教室の開催などニーズを把握しながら実施内容の検討を行うとともに、実施場所の拡大を図っていく。</p>	<p>◆「効果的であった」 ・外国人相談窓口は、以前より週2日から増えていないため、週2→週3へ増やすことは出来ないだろうか。 ・当地域においても、労働者の確保・人材不足が顕著な状況から、今後外国人労働者が増加してくることが予想される。今後は、現在の「日本語教室」や「外国人総合相談窓口」の拡大・充実に努めるとともに、外国人労働者を雇用する地域事業所に対する支援策等を検討・実施する必要があるものと認識している。</p>			

地方創生交付金事業・地方創生拠点整備交付金・認定中の地域再生計画 検証結果(令和4年度分)

交付対象事業の名称 地域再生計画の名称	事業概要	事業費 (単位:千円)	重要業績評価指標(KPI)				今後の方針	外部有識者の総評
			指標名	単位	目標値	実績値		
地方創生拠点整備交付金								
3 天草市スポーツコミッションセンター(仮称)整備事業(2年目)	<p>◆目的 天草市スポーツ拠点施設整備基本計画に基づき、市民一人ひとりが日常的にスポーツへの関心を高め、健康づくりや競技力の向上を図るとともに、スポーツを通じた新たな交流を創出する。</p> <p>◆内容 【天草市スポーツコミッションセンター(仮称)新築】 構造 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造2階建 延床面積 2,448.81㎡ 施設概要 ・会議室兼審判室、トレーニング室、ラウンジ、多目的室、男女更衣室、事務室、2階観覧席(一般539席、車いす用14席)、エレベーター設置、倉庫、トイレ等</p>	899,867千円 うち交付金充当額 449,933千円	スポーツコミッションセンターの利用者数(陸上競技場含む)	人	0	0	天草市陸上競技場全体の供用が令和5年7月から開始されることから、市スポーツコミッションの活動拠点をスポーツコミッションセンター内に移行し、第3次天草市総合計画前期基本計画並びにスポーツ推進計画に基づき、同コミッションが中心となり、スポーツ大会や合宿で多くの来訪者を呼び込み市内の宿泊、観光産業の振興につなげ、地域の活性化を図っていく。 併せて、市民とアスリートの交流を図り、市民のスポーツや運動に対する関心を高めるとともに、関係機関と連携しながら本格的に様々な事業に取り組んでいく。	<p>◆「効果的であった」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他県からの合宿などの利用もあり、新たな人の流れが生まれ天草の魅力も発信することができる。うまく呼び込むことに力を入れることが課題かと思う。 ・立派なグラウンドと施設が建設されて、市民の方々の期待も大きいと思います。利用しやすい運営と最大限の活用をお願いいたします。 ・引き続きスポーツ大会やイベント等での来訪者を増やし、天草活性化の中核となる事業展開をお願いしたい。 ・本事業において、本年7月より供用を開始された、あましんスタジアム(天草市陸上競技場)は、「天草市スポーツコミッション活動戦略」の新たな拠点として、市民の健康増進や、競技力向上が図られること、スポーツ大会・合宿などの誘致により、交流・関係人口の創出に繋がる。また、交通手段として天草エアラインに加えて天草未来大橋の開通の相乗効果もあり、天草における新たな地方創生の起点として期待できる。 ・あましんスタジアムには期待している。スポーツ競技による交流人口の増加、それに伴う宿泊施設の受け入れや飲食店での接客対応が進むことで、観光産業の波及効果に期待している。今後は一流選手との交流の場が増加すれば、更に子どもたちへのスポーツ技術の向上が図られるものと思っている。
認定中の地域再生計画								
4 天草市イルカセンター(仮称)の整備による天草市の観光振興と地域活性化(5年目)	<p>◆目的 五和町通詞島周辺海域には野生のイルカが生息し、平成5年にイルカウォッチングを開始し、天草を代表する体験型観光として、多くの観光客が訪れているが、近隣に観光施設等がないため、経済波及効果が発揮できていない。地元二江地区の地域活性化はもとより天草市の観光振興を実現するために、「天草市イルカセンター」を整備する。</p> <p>◆内容 自主事業 ・出荷協議会によるマルシェ ・3周年記念イベント 道の駅共通事業 ・デジタルスタンプラリーイベント ・チェアリングキャンペーン</p>	22,732千円	当センター窓口を利用したイルカウォッチング客数	人	115,000	48,908	利用者・売上高については、新型コロナウイルス感染症の影響が緩和しつつあるため、コロナ前より実績を伸ばせるよう、地域住民や観光客の集客に向け、指定管理者である天草漁業協同組合と経営改善に向けた協議を継続し、取り組んでいく。 また、市内で登録されている5つの道の駅の駅や文化施設などを活用した周遊観光ルートの周知や、今後も市外向けの各種キャンペーン及びSNS、メディアを活用した情報発信を積極的に行い、島内回遊性を高め、施設利用者の増加を図っていく。 イルカウォッチングは、本市の重要な観光資源の一つであり、観光客の利便性向上を図るため、今後もイルカウォッチング窓口の一本化に向け、事業者との継続的な協議を行っていく。	<p>◆「効果的であった」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍から少しずつ利用者の増加傾向もあり、この事業の効果が今後も期待できる事業だと思っています。イルカウォッチングは、他の市町村でも行っている事業。他との差別化を表現して、しっかりPRしてほしい。 ・天草住民であるのにイルカウォッチングへ行ったことがない、という話を聞く。まずは地元住民に良さを知ってもらい、多くの人に実際に来て貰うためにも、「住民割(回数制限有)」等を設け集客に繋げてはどうだろうか。 ・イルカウォッチングについては、全国でも珍しく天草市の重要な観光資源の一つであることから、観光客増加に向けた施策を継続すると同時に、安定的にイルカの生息数を確保することが重要であり、環境保全活動についても、地域と一体となって更に強化する必要があるものと認識している。 ・これだけの施設を作った割には盛り上げにかけられる。平日の利用人数を増やすために観光客だけでなく住人からも魅力的な道の駅にするため、店内のフード等力を入れる必要がある。 ・イルカウォッチング窓口の一本化に加え、安全性を確保するためのガイドライン等の規制が必要であるものと考えている。 ・新型コロナウイルスの影響から観光客の激減等利用者が少なく大変な状況であったが、イルカセンター(指定管理者)の顧客対応と物産品の充実など年々良くなっていると感じている。明るい笑顔で接客対応がとてよく、観光客が楽しん訪れる天草を代表する施設となっている様だ。今後はリピーター客も増え利用者の増加が期待できる施設となるであろう。 ・イルカウォッチングをメインとし、天草の海産物を求められる魅力ある観光施設となり、観光客増加に伴う売上増加・外貨獲得にもつながるものと思っています。

地方創生交付金事業・地方創生拠点整備交付金・認定中の地域再生計画 検証結果(令和4年度分)

交付対象事業の名称 地域再生計画の名称	事業概要	事業費 (単位:千円)	重要業績評価指標(KPI)				今後の方針	外部有識者の総評
			指標名	単位	目標値	実績値		
5 宮地岳観光交流施設の整備 による天草市の観光振興と 地域活性化(4年目)	<p>◆目的 過疎化が進み、地域力の低下が課題となっている宮地岳地区において、閉校した小学校校舎を利用し「道の駅」機能を付した観光拠点を整備することにより、観光客との交流による地域活性化を図るとともに、天草下島の中心部に位置する地勢的利点を活かし、天草市の観光情報を提供することにより島内周遊を促し、天草地域全体への波及効果を高める。</p> <p>◆内容 自主事業 ・かかし祭り・そば打ち体験・ドローン体験・七夕祭り ・夏祭り・マジックショー・秋祭り・歳末感謝祭 ・ひなまつり</p> <p>道の駅共通事業 ・デジタルスタンプラリーイベント・チェアリングキャンペーン</p>	5,466千円	施設利用者数	人	520,000	41,226	<p>道の駅宮地岳かかしの里をSNSやメディアを活用した情報発信を積極的に行うことで、観光客の誘客および周辺地域への波及効果の浸透を図っていく。また、地元振興会との連携を図るとともに、令和4年度に実施した天草市内5つの道の駅や温泉、文化施設を周遊するデジタルスタンプラリーイベントは好評であったことから、引き続き、他の道の駅と連動したキャンペーン等の実施を進め島内周遊を促し、天草地域全体への波及効果を高めていく。</p> <p>施設内での物産やレストランについても、来訪者に地域の特色を感じていただけるよう、夏蕎麦や地域ならではの農産物、加工品など地域の特色を生かした商品販売に努め、更なる魅力を構築していく。また、食事及び地元産品販売とそば打ち体験などの体験プログラムをセットにした商品を開発し、集客や売上向上を図っていく。</p>	<p>◆「効果的であった」 ・宮地岳独自の道の駅となっている。様々なイベントを開催することで市内の利用者は多いが、市外へのプロモーションも必要。 ・「かかし」が面白いかと私も思っていました。訪れてみると面白い。いろいろな年代の人が楽しめる。ただ、何度も行きたいとは思えなかった。今後の方針にある様に何度も訪れて楽しめる場所にしてほしい。 ・平日の利用者が少ないということであるが、同じように地元産品を取扱って販売をしている「天草とれたて市場」は、日々特に朝からお昼にかけての集客が大変多い。何かここから参考となることはないだろうか。 ・道の駅宮地岳かかしの里は、天草市の観光拠点の一つであるとともに、過疎化が進む地域の重要な生活拠点となっていることもあり、地域住民・振興会との連携強化を図り、「かかし」以外の特色ある独自の地域産品をブラッシュアップすることで、更なる観光客の誘客及び周辺地域の活性化に繋がるものと考え。 ・牛深から本渡まで車で1時間、その間には休憩する施設がなかったが、道の駅宮地岳かかしの里ができて観光客や市民にもトイ休憩する機会が増えている。もし施設がなければただ通過する町で益々過疎化が進むことであつたらう。 ・道の駅運営に関しては、レストランの評価も少しずつ良くなり、地域を巻き込んだ独自のイベントも企画されている。他の道の駅と違いが見える宮地岳町独自のイベント「かかし」を柱として、今後も地元振興会との連携を図りながら、沢山の観光客が訪れ市民にも愛される必要となる施設となるように期待している。</p>
施設売上高	万円	7,280	5,682					
6 天草市まち・ひと・しごと創生 推進計画(企業版ふるさと納 税関係)(3年目)	<p>◆目的・内容 天草市人口ビジョンで展望した人口減少に伴う課題を解決するために、天草市第2期総合戦略に掲げた4つの基本目標を達成するため、企業版ふるさと納税を活用するもの。</p> <p>【充当事業】 通詞島沖イルカ環境実態調査事業 6,600千円 スポーツ拠点施設整備事業 1,000千円 子どもはぐくみ応援事業 1,400千円 子どもデイサービス事業 3,600千円</p>	寄附受領額 12,600千円	若い世代の転出超過(累計)	人	1,172	2,212 (参考値)	<p>自治体が営業活動を行う余力や民間企業との繋がりが無いため、令和4年度にはじめて都市部の企業との繋がりのある金融機関にコンサルティング業務を委託して寄附金の獲得を目指したところ、6社:12,600,000円(前年比:5社増、12,400,000円増)の寄附を受けることができた。今後も内容等の充実を図りながら金融機関と連携し、寄附の獲得を目指していく。</p> <p>併せて、本市が計画し実施する事業に対して、企業が「寄附をしたくなる」「寄附をしやすくなる」よう複数の事業を組み合わせたプロジェクトとして周知を行うなど寄附金の増額に向けた取り組みを実施します。</p>	<p>◆「効果的であった」 ・今後の方針の中に、複数の事業を組み合わせたプロジェクトとあり、是非確実に取組んでいただきたい。又、その際は市内のより多くの事業者に取り組みやすい説明やPRをお願いしたい。 ・企業版ふるさと納税の対象となる事業について、単なる寄附金だけに留まらず、寄附等を通じて繋がりをもちた企業が以降もその事業を支援・応援できる仕組みを構築することで、新たな交流・関係人口の創出をもたらすものとする。</p>
就業人口数の確保	人	29,346	35,076 (参考値)					
都市部から本市への転入(累計)	人	400	641					
25~44歳女性の就業率	%	81.3	83.7					
子育てしやすい地域と感じる市民の割合	%	69.5	59.5					
健康に暮らしていると感じる市民の割合	%	87.5	84.2					
安心して暮らしていると感じる市民の割合	%	93.0	85.3					